

平成29年度特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報活用普及功労者】

株式会社日本電気特許技術情報センター IPコンサルティングサービス事業部 主任
堀越 節子

功 績

日本電気株式会社に入社し、特許調査や特許サーチツール導入プロジェクト等に従事されました。これらの業務を通じて得た知見を様々な活動を通じて対外発信されるなど特許情報の普及に大きく貢献されました。

情報科学技術協会（INFOSTA）では、1987-2005年の約18年間にわたり、日本オンライン情報検索ユーザー会（OUG）特許分科会に参加し、会誌への論文発表や「情報プロフェッショナルシンポジウム」（INFOPRO）での発表等をされました。1992年度以降約10年間、「データベース検索技術者認定試験」の実施において、試験全体の運営を担当する実行委員等として主に知財科目を中心に関わられました。

日本知的財産協会（JIPA）では、2000年度より知的財産情報検索委員会に参画し、2001-2004年度は副委員長を務められました。この活動の中で、国立情報学研究所（NII）との共同研究として概念検索システムの性能評価用データセットの作成、検索エンジンの評価手法の検討等を主導されました。この活動の成果は、新しい情報処理手法の有効性を検証するための国立情報学研究所のプロジェクトであるNTCIR-3、-4の特許タスクの世界初の特許検索のテストコレクションとして採用されています。また、2000年度より10年以上にわたり知財情報研修の特許情報調査の実践や活用等に関する講師を務められました。

電気・電子分野を中心とした工学分野の特許情報の利用技術の研究会である日本EPI協議会（JEA）にも1996年から参画されており、特に会長を務められました2008-2012年度には「特許情報解析」、「知財価値評価」をテーマとしたシンポジウムの企画・開催も主導されました。

この度、特許情報活用普及功労者賞の受賞にあたり、社内外の関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。JIPA 知的財産情報検索委員会での特許テストコレクションの作成・活用研究は非常に地道な検討が必要でした。また、JEAで企画・開催したシンポジウムは、特許情報活用の観点から先進的なテーマを取り上げ、業種を超えて参加者と最新情報を共有する場となりました。いずれも1企業で実現することは難しく、会員各社の協力・連携があって初めて成し遂げられたことであり、貴重な経験となりました。微力ながら、今後も特許情報の活用・普及に貢献してまいります。本当にありがとうございました。

